

平成26年5月20日

軽井沢町議会  
議長 篠原公子様

総務常任委員会  
委員長 大林 義博

## 平成26年 軽井沢町総務常任委員会視察報告書

- 1 視察日程 平成26年5月15日(木)～16日(金)
- 2 視察先及び目的 (1) 山梨県 都留市役所  
①雪害対策要綱等について  
(2) 山梨県 山梨市市役所  
①小学校英語科教育課程特例校の指定について  
②英語科の取り組みについて
3. 視察参加者 ・委員長 大林義博 ・副委員長 市村 守  
・委員 横須賀桃子 ・土屋好生 ・佐藤敏明 ・荻原宗夫・内堀次雄  
・議長 篠原公子  
・同行 西垣美智雄(建設課長)・土屋公一(教育次長)  
・随 行 篠原幸雄(議会事務局長)

### (1) 山梨県 都留市 ——— 平成26年5月15日(木) ———

#### ◎視察目的 ①雪害対策要綱等について

#### ◎視察内容 説明者 都留市役所 法政安全室 加藤 隆 副主査

○都留市降雪対応マニュアル抜粋(平成14年12月作成・平成22年1月内容見直し)  
冬期における産業経済活動と市民生活を守るため、道路交通の確保並びに雪害の予防及び応急対策の効果的な実施を図る。

- 対策事項 1) 雪害予防対策 ・除雪対策本部・30cm・豪雪対策本部・60cm  
2) 除雪体制 ・基準15cm 3) 高齢者等災害時要援護者対策  
4) 児童・生徒通学対 5) ごみ処理対策

都留市の2月14日、15日にわたる雪害対応

- ・降始め 2/14 4:00 ・降終わり 2/15 10:30 ・最大積雪量 108cm
- ・除雪対策本部設置 2/14 17:00 ・豪雪対策本部設置 2/15 3:30
- ・災害対策本部設置 2/15 9:00 (廃止2/27 17:00)

#### ○質疑応答

- ・国道の除雪が進まなかったため、市の判断で行ったが、車が除雪の障害となった。国、県は業者に委託しているだけで現場状況を把握していないため連携が取れない。
- ・除雪は業者判断で14日夜には15cmを超えたので実施していた。15日から18日は、ほぼ一昼夜実施。雪捨て場は決めてなかった。(小学校駐車場とした)。

- ・情報の周知は防災行政無線、お知らせメール、特にエリアメールは効果があった。
- ・帰宅困難者（立ち往生車両運転者等含む）対策はマニュアルがなかった。官公庁、民間施設を避難所としたが市役所以外は災害備蓄品がなかった。市で炊出し実施。
- ・費用は補正予算で対応。
- ・議員はそれぞれに対応。軽井沢は対策会議内容をメール配信。
- ・休校は17日～21日。学校緊急メール活用。
- ・対策本部第1～第3配備マニュアルはできている。・除雪の配備計画は明確にはない。

◎**考察** 都留市では除雪計画書、降雪対応マニュアルはあったが、大量の降雪と、国道等主要道路が通行止めになったことで、前日からの除雪や市判断での国道等の除雪を実施したが、当町同様に困難を極め体制の見直しが必要。

当町としても除雪体制の見直し、国、県等との連携、機械の配備など大雪に対する除雪計画、マニュアルの作成が急がれる。

## (2) 山梨県 山梨市 ——— 平成26年5月16日（金） ———

◎**視察目的** ①小学校英語科教育課程特例校の指定について

②英語科の取り組みについて

◎**視察内容** 説明者 山梨市役所 山梨市教育委員会学校教育課 角田弘樹 主幹  
教育委員会学校教育課による、「小学校英語教育の推進」についての説明。

1 小学校での英語教育の目指すもの

- ・アンケートの結果、中学校での英語嫌いの原因は→アルファベット→
- ・アルファベット・アレルギーを中学校で作らないために英語活動から英語を教科として教え始める。

2 小学校英語科の目標

- ・英語に慣れ親しむ活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、英語や外国語の文化に対する興味や関心を高めると共に聞くこと・話すこと・書くこと・読むことを体験的に学びコミュニケーション能力の基本を養う。

3 英語教育を始めた経緯

平成15年度 山梨市内の全7小学校で英語活動をスタート→山梨市が教育課程特例校の指定を受け、英語教育の研究実施をスタート→「英語科指導要領」を作成

4 今年度の取り組み

国で推進していく教科として英語との整合性が保たれるよう、英語科を進め、小学生へのアンケート調査を実施して今後の取り組みに反映。

5 小学校英語科推進の為の体制

- ・教育推進委員会：25名
- ・ALT（英語指導助手）：6名
- ・JTE（日本人英語指導助手）：3名

◎**考察**

- ・英語活動を教科として教えているだけではなく、しっかりとした学年別の学習指導要領ある。
- ・英語活動に対するアンケート調査を児童から実施している。
- ・日本人英語指導助手も一緒に指導している。